



バイオポリマー

"from little things
big things grow"

ケイ酸 32.15% + ボロンを含む微量元素 根の成長促進と根細胞の強化



芝草での効果は、ずばり、根茎の充実です。
根の伸長と、密度増強が、その効果です。



水稲で証明されたバイオポリマーの効果
倒伏を防ぐ茎の強靭さと、直立性。



バイオポリマー施用区



無処理区。



充実した根組織



茎の太さ。頑強さ

バイオポリマーは天然のミネラルから作られています。

主な成分はシリカで、ケイ酸含有量は32.5%です。シリカはマイナスの電極を持ち、プラスの陽イオンと結合し栄養素を根に運びます。天然のシリカは地中に二番目に多く存在する物質にも関わらず、植物が吸収するには大変長い時間を要しますが、特殊な処理を施しているバイオポリマーは素早くその効果を発揮します。

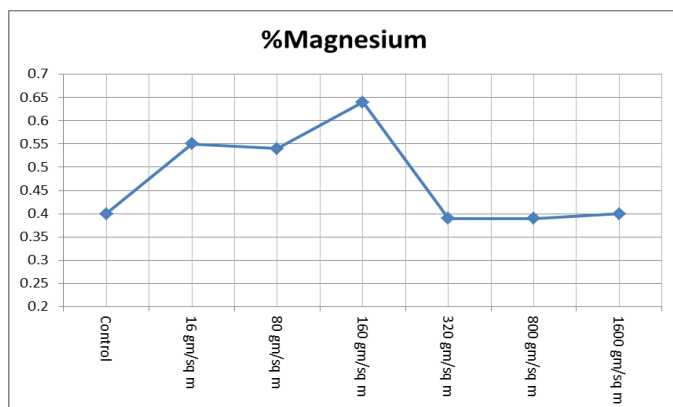
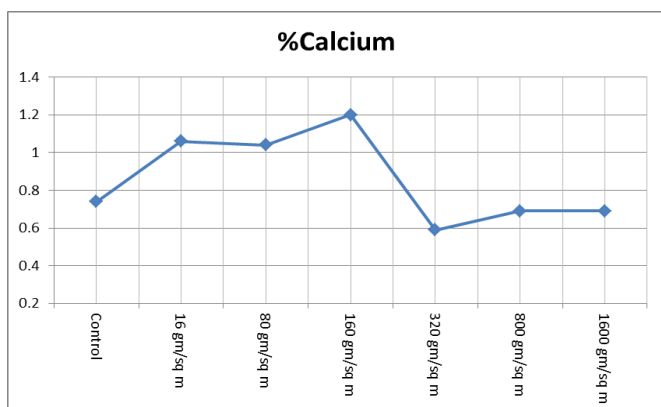
植物の体系、被膜の作用、ストレスの防御、セルの分裂などや、土壌改善の意味でも CEC の改善などに大きな役割を果たします。

バイオポリマーの利点

- ・ 栄養素の吸収改善。
- ・ 根量を増やし、茎や根が丈夫になります。
- ・ 粒肥との混合散布が可能。
- ・ 作業性
 - a) 水和剤としてタンク車での散布が可能です。
 - b) バイオポリマーをコーティングした粒肥の養分溶出を穏やかにします。

栄養素吸収の試験結果

フロラティン・プロダクト・グループによってバイオポリマーの試験が行われました。バイオポリマーを施肥後、葉身分析の結果にどのような影響が与えられるか試験しました。この葉身分析を使った実験の結果からバイオポリマーを散布すると Ca や Mg の吸収増加することがわかりました。



施用量

- ・ 0.5g から 1.5g/m²を上限として 28 日間隔。(0.35~0.5g/m²なら 14 日間隔)
- ・ 散布水量：80~200ml/m² (タンク車で散布する場合は、十分に攪拌を行いながら散布してください。)

施用用法

- ・ トライカル、クワッド K、マキシプレックスとの混合散布は効果的です。
- ・ 50kgx2 袋の粒肥の代わりに、50 kgに 2kg のバイオポリマーをミックスして施肥してください。
- ・ バイオポリマーは土壌改良材です。散布規定量以上を撒くことにより、急激な土壌の改善を促進させるものではございませんので、規定量を守って散布してください。



総輸入代理店
株)ソイルマックス
info@soilmaxx.com
電話：03-3553-8589

販売代理店：